



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

2019年
7月号
2019.7.6 発行
第213号

あたらしい
なかまを
しょうかいします



ヴー・バン・トゥ
(ベトナム)



ゲン・フウ・ドウク
(ベトナム)



徐 雷
(中国)



謝 瑞
(中国)



レー・ティ・ミン・ト
(ベトナム)



デイン・ティ・ホア・モ
(ベトナム)



チエリー
(カナダ)

中川先生のへんてこ日本語

最近行けていない

「まだアルバイト行ってる？」と聞いたたら、「最近行けていないんですけど」と返ってきた。こんな「行けていない」をよく耳にする。

そもそも「〜ている」には、「今〇〇飯を食べています」や「太郎さんはまだ寝ています」のように「現在進行中の動作」を表す以外に、「窓があいています」「電気が消えています」のように、「結果の残存」を表す用法がある。では「行けていない」の何がおかしいのか。そもそも「可能形+〜ている」が悪いのか。

とはいえ、「準備はまだできていない」や「レポートはもう書けている」などの「可能形+〜ている」の文例はいくらでも容易に見つかる。

「〜できる」や「書ける」は、動作が完遂した状態が残存したりまた完遂しない状態が継続したりしていることを述べているのに対して、「行く」は動作の完遂を問題にしない。

ではなぜこんな言い方が生まれるのか。話者の頭の中には、「1ヶ月に20日アルバイトに行つて、10万円稼ぐ」が意識化されており、その努力目標が完遂されていないのではないかと思ってしまう。

「このごろ映画はあまり見られていない」なら、映画を見るのが第一目標で、勉強は二の次だと考えてしまふ。

また「〜ている」には、「毎日公園を散歩しています」や「毎朝5時に起きています」などの「習慣・反復」を表す用法もあるが、「ここから考えても、「アルバイトに行けていない」は、アルバイトという第一の目標の習慣が達成されていないことになり、学生の自分が忘れられている。どうも「(行)けない」。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

108



みんな、教え方で困ってることはない？



第1回 日本語指導者勉強会

6月13日(土)18時～

オリーブの授業中、スタッフは自分が教える学習者さんに集中しているので、他のスタッフの教え方を見ることもできないし、悩みを相談する時間もないし、ということで、月に1回授業前に交流の時間を持とうということになりました。第1回はテーマも絞られていないので、とりあえずその場で出た意見を並べてみます。



(1)日本語初心者の教え方について

ひらがながやっと書けるくらいの初心者を教えるのはどうしたらいい？

*「早くコミュニケーションをとりたいから会話をしたい！」という人もいるけど、日本に長く住むならやはり文字理解はたいせつ。

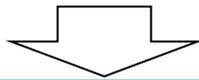
*相手と会話がある程度成り立っているから理解しているかと思ったらまったく理解していないことがある。会話が成り立つと内容を理解してるは別問題。

*テキストは文字が多すぎて、初心者には使いにくい。その人に合わせて教材を用意する必要がある。

*まずひらがなを覚えてもらうために、自分の名前を書いたり、ゲームをやったりしてすこずつ字を覚えてもらう。

*漢字を覚えたいという人には絵カード使ったり、かるた使ったり。

まとめると



初級は、教材の工夫がたいせつ。そして、体力！



(2)N4レベル(みんなの日本語初級2くらい)の人の教え方について

テキストに沿って教えたほうがいいのか、能力試験N4を目指して問題演習したほうがいいのか？

*テキスト中心か、会話で使える日本語を目指すか、N4チャレンジか？むずかしい…

*文法を理解しても、使いこなすに至るまで時間がかかる。

*場面ごとの会話中心のテキストもあるけど、教えるのはむずかしい。文法がわかってないと理解しにくい。

*ある程度文法の積み上げは必要か？

全般に日本語能力試験対策について

*テストを目指す人はどのくらいいる？→ 学習者の半分くらいか。最近増えたねー

*問題を並べ替えたりして、何度もやるのがたいせつ。(語学はくりかえしが重要！)

*教師が似た問題を作る。

(3)N3を目指す学習者のレベルを上げるには？

*学習者の学歴によって進捗度、アプローチ法はちがう。

*「わかる」という人に例文を作ってもらおうと、ほんとうにわかっているのかが分かる。

*「わかる」という人に説明してもらおう。

*相手にとって身近な話題(彼女のこととか)で例文を作り、導入にして興味・関心を引き出す。

(4)さまざまなアプローチの提案

*日本の小学校の国語の教科書をもらってみた。これに沿って学んでいくことはできないか？

*正しい日本語を知っていても、会社の同僚としゃべれない。日本語の文法をたどるのではなく、日本語の会話を組み立てる力が必要なのではないか。

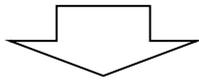
*会話では、音声、発音がたいせつ。発音できない字は書けない。アクセントやイントネーションで理解できることもある。

*文法なんかやってられるか！という人にはシャドウイングによって流ちょうな日本語を目指す方法もある。

*アニメの力はすごい。日本語のアニメはわかりやすい。「まかせろ」「いいかげんにしろ」など、テキストでは教えない表現を学習者が知っていたりする。アニメでリスニング力もあがる。



以上、まとめると(まとめられない~)



学習者の求めるものを与えることが大切。(きれいな発音・正しい文法・会話力の向上……)

と、いろいろな教え方がある中で、「そもそも根本的に教え方そのものがわからない」というニーズにどう応える？

というわけで、**模擬授業をやりよう!**ということになりました。

で、今回は

7月20日(土)18:00~「初心者教える」

模擬授業をネタに
みんなで考えましょう!

ここで、BNN担当の河村さんから朗報が!

BNN日本語指導者養成講座

7月28日(日)コミセンやす

講師:原田朋子(同志社大学講師) 内容:ティーチャートーク等

8月25日(日)・9月22日(日)コミセンきたの

講師:勝尾纓美(日本語教室「虹」代表)

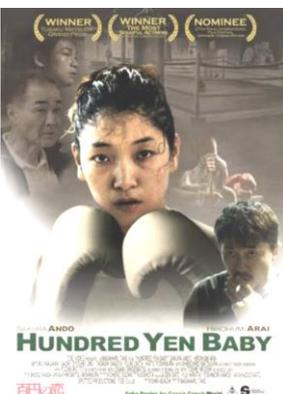
内容:日本語が全く分からない学習者への対応等

8月はオリーブの25周年イベントとかさな
りますが、可能な範囲で参加してみませんか?

会員リレーエッセイ

「こんにちは、よろしくお願いします!」 藤田 元

家から歩いて数分のところに湖があります。琵琶湖です。カシャ!(音)。今、写真を撮りました。昨日オリーブ通信に文章を寄せるよう依頼されました。今日は日曜日です。琵琶湖の岸を散歩しています。休みの日の午後に散歩することが時々あります。この文章がみなさんにいつ読んでもらえるか分かりませんが、5月の琵琶湖はよく晴れてとても気持ちがいいです。暑くも寒くもありません。時々強い風がせつかく買った大好きな食べ物(たこ焼き)をひっくり返してしまいそうになりますが、さわやかないい午後です。



オリーブにはたくさんの先生と生徒がいるので、教室に通いはじめてまだ4ヶ月くらいの私を知らない人もたくさんいると思います。普段は学校の先生をしています。iTunesには好きな音楽が3000曲ほど入っています。この間レンタルビデオショップで「百円の恋」という映画を借り、とても面白いと思いました。32歳の女性がボクシングを始めて、自分にいろいろな変化を見つけていく話です。オススメです。カシャ!(写真の音)。

週に2・3回ボクシングジムに通っています。これは趣味です。学校の仕事を卒業したら海外で暮らしたいと思っています。そんな事を考えていたらオリーブと出会うことができました。

湖は気持ちがいいです。広々とした自然に接すると、誰もが子供のようにしゃぎたくなるのかもしれない。楽しそうに過ごす人たちとたくさんすれ違います。日本語は難しいですね。こうして文章を書きながらそう思います。オリーブでは教えながら学ぶことがたくさんありそうです。多くの人と交流する中で異国の文化を感じるのも楽しい経験です。みなさんの『学びたい』という思いに少しでも寄り添えることができたらいいなと思っています。日が傾き、少し冷えてきたので帰宅します。これからもどうぞよろしくお願いします。





先月の活動(6月)



今月の活動予定(7月)

日本語教室 6/8(M), 15, 22, 29 (4回)
 まちセン運営協議会・全体会議 6/10(月)
 (内田千、田中一)
 まちセン消防訓練 6/12(水) (田中一)
 日本語指導者勉強会 6/13(土) 18:00~
 草津市コミュニティ事業団評議員会 6/27(木) (恩地)
 まちセンイベント「親子で七夕まつり」
 6/29(土) (内田千)
 BNN運営委員会 6/30(日) (河村)

日本語教室 7/6(M), 20, 27 (3回)
 オリーブミーティング 7/6(土) 18:00~
 オリーブ25周年準備会議 7/6(土) 教室終了後
 日本語指導勉強会 7/20(土) 18:00~
 BNN運営委員会 7/14(日) (河村)
 まちセン運営協議会施設部会 7/18(木) (内田千)

●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



●日本語教室の(M)は定例ミーティング



参加人数(6月)

| | 6/8 | 6/15 | 6/22 | 6/29 |
|----|-----|------|------|------|
| 生徒 | 33人 | 40人 | 50人 | 39人 |
| 先生 | 20人 | 28人 | 24人 | 20人 |



お知らせ



わたしたち、帰国します。



劉 娟さん 孫 兵さん 邵 兵さん



会員の動き(6月)

〈入会〉張 苗苗さん
 〈休会〉繁縄裕子さん
 〈退会〉〈賛助会員〉なし



張 苗苗さん

社会福祉士もしています。「生活がたいへんだなあ」と思ったり、そんなともだちがいたら、いっしょに考えましょう。



劉 娟さん

田中先生からよい日本語の勉強法を学びました。オリーブのイベントにも参加しました。桜を見たり、着物を着たり、新年のお祝いをみんなでしたり、日本語スピーチに挑戦したり…この1年の素晴らしい記憶を持って帰国します。

孫 兵さん

約12か月田中先生のグループで勉強しました。単語、文法だけでなく、日本の文化、歴史などいろいろな知識を教えてくださいました。長い間たいへんお世話になりました。

邵 兵さん

一年間、杉山先生にいろいろ教えてもらいました。日本、「ベトナム、中国の文化や料理などについてみんなで話し、日本のことが徐々にわかってきました。みなさんに会えてとてもうれしかった。

編集後記 オリーブは今年もまちセンの七夕行事に短冊で参加しました。お世話していただいた、まちセン担当田中(一)さん、内田(千)さんおつかれさまです。「バク転ができるようになりたい」「ピアノが上手になりたい」などという子ども？の短冊に交じって「NO合格！」の学習者さんの短冊も目立ちます。中には「彼女と結婚したい」「金持ちになりたい」という若者らしい現実的な願いも。「両親が健康でいられますように」「家族に会いたい」ということばには思わずホロリ。この願い、星にとどけ！ (フクイ)